

# SHINWA REPORT

第6期(2019年度)報告書  
2019.4.1 - 2020.3.31

## 株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
第6期(2019年度)の業績について、ご報告させていただきます。

## 信和株式会社

〒503-0311 岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7 TEL:0584-66-4436

## “モノづくり”へのこだわりが、当社のDNA。

株主・投資家の皆様におかれましては、当社の成長に変わらぬご支援・ご期待を  
いただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

弊社は1977年に仮設資材のメーカーとして創業いたしました。「仮設資材」は建築  
工事中しか目にしない物ですが、工事に携わるすべての方々の安全や生命を支える  
必需品であります。弊社は、これら工事現場における安全性や作業性の向上に資する  
製品の開発に取り組み、1988年に発売したくさび緊結式足場『シンワキャッチャー』は、  
おかげ様でシステム足場業界の国内トップシェアを頂くまでになりました。

そして、これら国内で培ってきた高品質な製品と生産技術を活かし、2019年に中国  
広東省に合弁会社「広東日信創富建築新材料有限公司」を設立いたしました。中国に  
おいても効率性や安全性の高い建築現場運営が強く求められておりますが、弊社が  
持つ様々なノウハウは、それらの課題解決に資するものと考え、現地でも当社の理念の  
一つである「製品・サービスを通じて、大切な命を守る」を実現してまいります。

当社の成長は「着実」「堅実」を旨としております。足元では新型コロナウイルスに  
端を発した世界的な不透明感が一層増す中ではございますが、弊社は社会になくは  
ならない技術と製品を有する企業として、引き続き“モノづくり”で社会に貢献し続け、  
ステークホルダーの皆様とともに成長できる存在でありたいと考えております。

なにとぞ一層のご愛顧、ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

小田 博



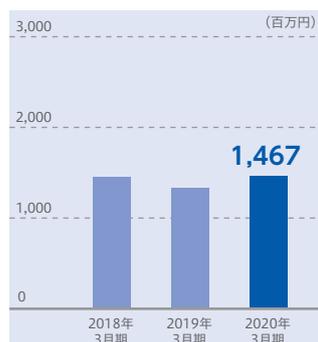
## 財務ハイライト第6期(2020年3月期)

詳細な財務情報は、当社のIRウェブサイトをご覧ください。 <http://ir.shinwa-jp.com>

### 売上収益



### 親会社の所有者に帰属する当期利益



### 株主資本比率



### ROE



# 事業の内容について

## 仮設資材部門

建設現場などで用いられる仮設足場は、主に低層～中層用で使用されるシステム足場※(くさび緊結式足場)と中層～高層用で使用されるシステム足場(次世代足場)並びに、主に高層用や大規模施設等で使用される枠組足場の3種類に大別されますが、当事業においては、主にシステム足場(くさび緊結式足場・次世代足場)の製造・販売を行っております。門型の建枠にジャッキベース・

交差筋かい・踏板等の基本部材を組み合わせ、積み上げていく枠組足場と比べ、システム足場は各製品(支柱・手すり・踏板等)が軽量かつシンプルな形状となっております。

当社が提供するシステム足場は、出荷金額ベースで市場シェア約30%の第1位となっております(自社調べ)。

※システム足場とは、「くさび緊結式足場」と「次世代足場」の総称です。

### 次世代足場について

次世代足場は、従来の枠組足場における寸法規格に準拠して作られている一方、くさび緊結式足場と同様に組み立て式となっております。また、くさび緊結式足場と比較して、手すりの抜け止め機能や支柱本体のロック機能が備わっており、高所作業における安全性・安定性を高めた製品であります。

当社の「SPS(サイレントパワーシステム)」は、国内最高水準の作業性と「静音性」を兼ね備えています。



▲次世代足場現場写真



▲くさび緊結式足場現場写真

### 当社取扱製品及び主力製品

システム足場	足場の種類	くさび緊結式足場 『シンフキャッチャー』	次世代足場 『SPS(サイレントパワーシステム)』『NDS(ダーウィン)』	
	主な用途	低層～中層向け (戸建住宅・マンション等)	中層～高層向け (大型マンション・ビル・大規模施設等)	
	当社の製品	 シンフキャッチャー	 SPS	 NDS

## 物流機器部門

物流機器部門では、主に工場、倉庫、建設現場における物品の保管・搬送等に使用される物流機器の製造・販売を行っております。

用途に合わせて様々な製品を製造しており、自動車部品、液晶パネル用ガラス等の保管・搬送用パレット及びスチールラックといった物品保管用の物流機器を、顧客の要望に基づいて企画設計・製造をし、顧客のニーズに最も適した製品を提供できるよう努めております。



## 第6期(2019年度)の概況

### 仮設資材部門

仮設資材部門は、主に戸建住宅などの低層から中層をターゲットにした「くさび緊結式足場」と、中層から高層の大型施設や公共工事をターゲットにした「次世代足場」の2つの製品群を展開しております。

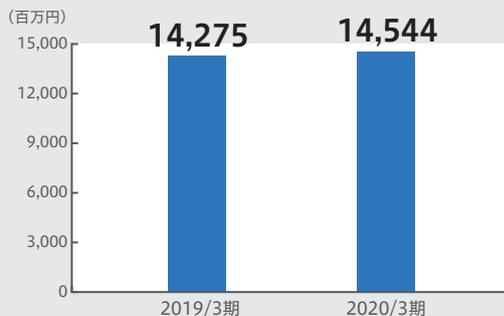
くさび緊結式足場におきましては、自然災害からの復旧・復興活動が継続していること、また、東京オリンピック・パラリンピック関連の工事が一段落を見せるなか、首都圏以外の地域におけるインフラ整備・再開発案件が活発になるなど、官民ともに工事需要が堅調に推移いたしました。また、工事現場の安全性向上を目的とした墜落・落下防止対策用の安全措置資材の需要が一段と高まったことを受け、これらの供給にも注力してまいりました。

第4四半期においては新型コロナウイルス感染症による経済活動の縮小と顧客による仮設資材への投資減少による売上収益の縮小が見られましたが、通期ではくさび緊結式足場の売上収益は8,748百万円(前期比6.5%増)となりました。

次世代足場におきましては、今後工事案件の広がりが期待される首都圏以外の拡販に注力し、新規取引先の開拓に努めたものの、前期後半より見られている大手仮設資材リース会社などの需要減少の影響を挽回するまでには至りませんでした。これらの結果、次世代足場の売上収益は2,160百万円(前期比18.7%減)となりました。

これらの結果、仮設資材部門の売上収益は14,544百万円(前期比1.9%増)となりました。

#### 仮設資材部門の売上収益



#### POINT

建設現場の安全性を高める墜落・落下防止対策用の安全措置資材(先行手摺、幅木など)の需要が増加

- くさび緊結式足場を中心に需要が堅調に推移
- 地方での次世代足場拡販に向けた営業活動を継続

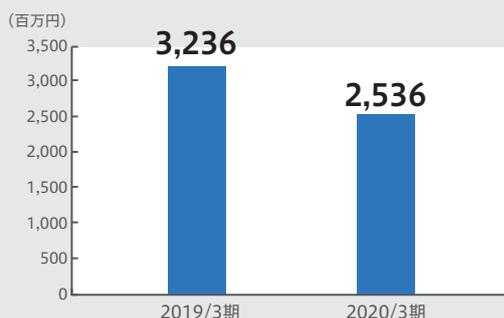
### 物流機器部門

物流機器部門は、建設業界のみならず、自動車や物流倉庫など幅広い産業に向けて、オーダーメイドによる「運ぶ・収納する」ソリューションを提供しております。

当連結会計年度においては、建設現場での安全性向上や効率性の追求から、大手仮設資材リース会社向けを中心に、より付加価値の高いパレットの需要が増大し、この供給に注力してまいりました。一方、当初の想定どおり、物流倉庫向けの大型案件が減少し、売上収益を押し下げる要因となりました。

これらの結果、物流機器部門の売上収益は2,536百万円(前期比21.6%減)となりました。

#### 物流機器部門の売上収益



#### POINT

大手仮設資材リース会社向けを中心に高付加価値商品の販売が堅調に推移

当初の想定どおり大型物流倉庫向けの完成工事案件が減少し売上収益を押し下げた

# 第6期(2019年度)のIR活動Topics

当社は、上場以来積極的にIR活動を行っております。アナリスト・機関投資家様には四半期ごとの個別訪問・電話会議を行い、半期ごとに決算説明会を開催いたしました。また、個人投資家様に対しては、2つのIRフェアに出展し、合計で1,518名の方に対し会社説明会を実施いたしました。

今後も当社の事業価値を向上させるべく、継続的にIR活動を行ってまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

## ■第5期決算説明会

アナリスト・機関投資家様対象の決算説明会



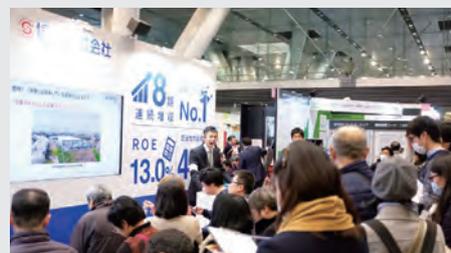
2019  
5月

## ■第5期(2018年度)株主総会

6月

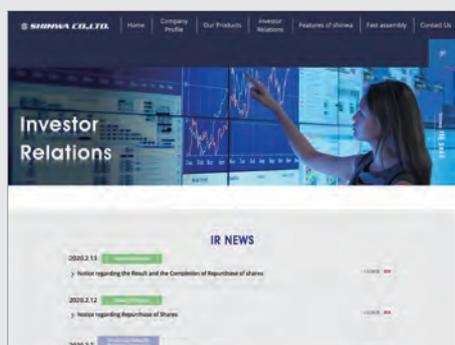
## ■日経IR・個人投資家フェア2019

東京でのIRフェアに出展、2日間で788名が来場



8月

## ■英語版IRサイトリリース



## ■個人投資家向け会社説明会(札幌市)



10月

## ■個人投資家向け会社説明会(京都市)

## ■個人投資家向け会社説明会(福岡市)

## ■個人投資家向け会社説明会(大阪市)

11月

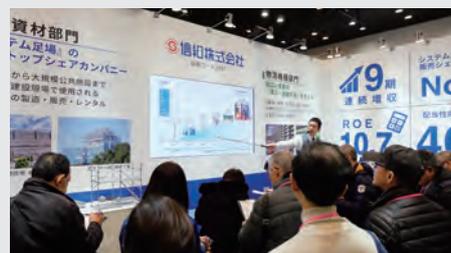
## ■第6期中間決算説明会



12月

## ■野村IR資産運用フェア2019

証券会社主催のIRフェアへ出展、2日間で730名が来場



## 連結財務諸表(国際会計基準)

### 連結財政状態計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>	<b>8,064</b>	<b>8,345</b>
現金及び現金同等物	1,742	3,120
営業債権及びその他の債権	3,817	2,777
棚卸資産	2,382	2,405
その他の金融資産	50	—
その他の流動資産	71	42
<b>非流動資産</b>	<b>13,108</b>	<b>13,274</b>
有形固定資産	2,495	2,370
使用権資産	—	353
のれん	9,221	9,221
無形資産	1,276	1,258
その他の金融資産	83	59
繰延税金資産	18	—
その他の非流動資産	13	11
<b>資産合計</b>	<b>21,172</b>	<b>21,620</b>

### 連結損益計算書

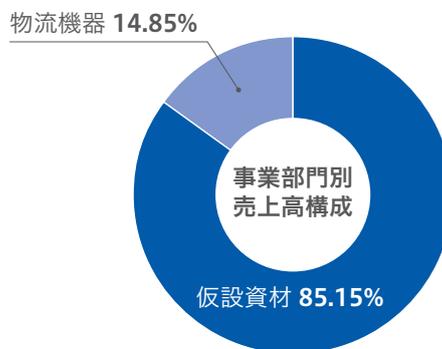
(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年4月1日～ 2019年3月31日)	当連結会計年度 (2019年4月1日～ 2020年3月31日)
売上収益	17,512	17,081
売上原価	△13,482	△12,751
<b>売上総利益</b>	<b>4,030</b>	<b>4,329</b>
販売費及び一般管理費	△2,073	△2,127
その他の収益	11	15
その他の費用	△4	△6
<b>営業利益</b>	<b>1,963</b>	<b>2,210</b>
金融収益	2	0
金融費用	△71	△70
<b>税引前利益</b>	<b>1,894</b>	<b>2,139</b>
法人所得税費用	△563	△671
<b>当期利益</b>	<b>1,331</b>	<b>1,467</b>
<b>当期利益の帰属</b>		
親会社の所有者	1,331	1,467
非支配持分	—	0
<b>当期利益</b>	<b>1,331</b>	<b>1,467</b>

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>(負債及び資本の部)</b>		
<b>流動負債</b>	<b>2,177</b>	<b>2,018</b>
営業債務及びその他の債務	1,180	739
借入金	494	495
未払法人所得税	174	432
その他の金融負債	33	83
その他の流動負債	293	267
<b>非流動負債</b>	<b>6,136</b>	<b>5,814</b>
借入金	5,685	5,202
引当金	45	45
その他の金融負債	42	240
繰延税金負債	358	321
その他の非流動負債	3	3
<b>負債合計</b>	<b>8,313</b>	<b>7,832</b>
<b>(資本の部)</b>		
<b>親会社の所有者に帰属する持分</b>	<b>12,859</b>	<b>13,740</b>
資本金	150	150
資本剰余金	6,915	6,951
利益剰余金	5,793	6,640
その他の資本の構成要素	—	△1
非支配持分	—	47
<b>資本合計</b>	<b>12,859</b>	<b>13,788</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>21,172</b>	<b>21,620</b>

### 事業部門別売上高構成 (2020年3月期)



## Topics

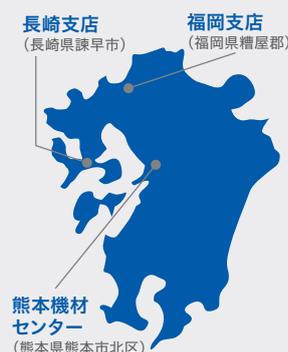
### 01 中国合併会社を設立

2019年11月に中国において合併会社「広東日信創富建築新材料有限公司」(広東省佛山市)を設立いたしました。

今後、中国の建設現場においては、安全性の向上や施工効率の改善、環境への配慮などの動きが進む見込みです。当社は、国内で培った高品質な製造ノウハウを活かし、中国建設現場における安全性の向上や施工効率の改善、環境への配慮に資する新たな価値を創造し、中国市場への新規参入を目指してまいります。

### 02 信和サービスを吸収合併

信和サービス株式会社は、主に中国・九州地方に仮設資材、物流機器を中心とした金属製品の販売及び足場施工工事事業を行ってまいりました。同社の吸収合併により、グループ会社のコーポレートガバナンスの強化、経営資源の集約と効率的な組織運営を図ってまいります。



## 会社概要 (2020年3月31日現在)

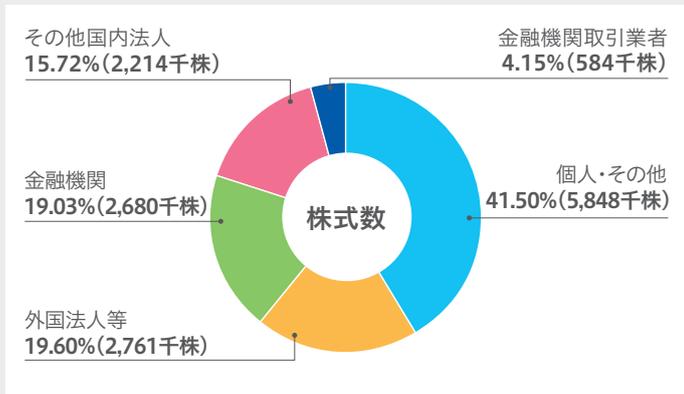
社名	信和株式会社 Shinwa Co.,Ltd.
設立	2014年8月11日(実質的な設立:1979年8月)
資本金	150百万円
主な事業内容	仮設資材、物流機器の製造・販売
従業員数	161名
本社所在地	岐阜県海津市平田町仏師川字村中30番7
営業拠点及び工場等	東京支店/大阪支店/名古屋オフィス/幸手事務所/福岡支店/長崎支店/土倉工場/土倉機材センター/杉戸機材センター/横浜機材センター/関西機材センター/熊本機材センター/広東日信創富建築新材料有限公司(中国・広東省佛山市)/フィリピン駐在員事務所(フィリピン・マニラ)/ベトナム協力工場(ベトナム・ホーチミン)

## 株式情報 (2020年3月31日現在)

### 株式の状況

発行可能株式総数	55,153,600株
発行済株式の総数	14,089,200株
株主数	11,836名

### 所有者別分布状況 (2020年3月31日現在)



### 配当方針

当社は、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた利益還元を行うことを基本方針とし

## 配当性向 40%以上

を目標に実施してまいります。

第6期(2019年度)実績 1株当たり配当金 **44.00円** 配当性向 **42.0%**  
(連結ベース)

## 株主メモ

証券コード	3447
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部・名古屋証券取引所 市場第1部
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヶ月以内
基準日	3月31日
剰余金の配当の基準日	3月31日
1単元の株式数	100株

## 役員 (2020年6月26日予定)

代表取締役社長	山田博
取締役副社長	則武栗夫
取締役	平野真一
社外取締役	芹澤浩
社外取締役(監査等委員)	伊藤佐英
社外取締役(監査等委員)	谷口哲一
社外取締役(監査等委員)	阿知波知子

### 大株主 (上位11名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,592,800	11.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,100,100	7.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	779,300	5.5
アルインコ株式会社	689,400	4.8
阪和興業株式会社	689,400	4.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	630,200	4.4
J P モルガン証券株式会社	195,104	1.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	191,700	1.3
クレディ・スイス証券株式会社	164,181	1.1
中山通商株式会社	137,900	0.9
株式会社ヤグミ	137,900	0.9

## 当社ホームページのご案内



様々な情報を  
ホームページで  
ご覧になれます。

<https://www.shinwa-jp.com>

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	愛知県名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告掲載方法	当社の公告は、電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法によって行います。 当社の公告掲載URLは次のとおりであります。 <a href="http://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html">http://ir.shinwa-jp.com/ja/announce.html</a>